



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

東

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所
 コード番号 3993 URL http://pkshatech.com/ja
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,190	11.2	479	16.7	439	4.8	230	△6.4
2020年9月期第2四半期	3,768	239.5	411	3.1	419	7.7	245	△2.1

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 802百万円(△42.5%) 2020年9月期第2四半期 1,395百万円(402.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	7.56	7.27
2020年9月期第2四半期	8.07	7.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	32,019	28,382	88.2
2020年9月期	32,314	27,104	83.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 28,255百万円 2020年9月期 27,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000~ 10,000	21.7~ 35.3	760	19.7	700	16.1	350~ 450	△74.3~ △80.0	11.51~ 14.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)株式会社AlgoNaut、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期2Q	30,832,600株	2020年9月期	30,679,400株
2021年9月期2Q	360,049株	2020年9月期	360,049株
2021年9月期2Q	30,420,951株	2020年9月期2Q	30,503,933株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、音声解析、機械学習/深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

Mobility & MaaS事業は、Smart City化に向けてリアル空間のオペレーションを知能化させていく取り組みを行っております。画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズを受けて、アルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを販売しております。また、IoT機器からリアル空間のデータを収集しクラウドに繋げた上で顧客への製品・サービス提供を行う取り組みの一環として、駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を行っております。

Cloud Intelligence事業は、デジタル空間上で行われる処理を知能化させていく取り組みを行っております。アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化・効率化や、オペレーションのソフトウェア化といったニーズに対応するアルゴリズムソリューション及びアルゴリズムソフトウェアを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合を目指す成長戦略のもと、優秀な人材の採用を積極的に進めるとともに、アルゴリズムのラインアップ拡張と研究開発の加速などの先行投資に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,190,478千円(前年同四半期比11.2%増)となりました。これは主に、Cloud Intelligence事業においてアルゴリズムソリューションの新規案件受注の増加及び各種ライセンスの販売が拡大したこと、及びMobility & MaaS事業において駐車場機器ソリューションの販売が堅調に拡大したことによるものです。

営業利益は479,959千円(前年同四半期比16.7%増)となりました。これは主に売上高が増加したことによるものです。経常利益は439,666千円(前年同四半期比4.8%増)となりました。前年同期はプラスであった持分法による投資損益が当期はマイナスとなったこと等により、増益幅が縮小いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は230,084千円(前年同四半期比6.4%減)となりました。当第2四半期連結累計期間においては法人税等の実効税率が上昇していますが、これは主に当社子会社で発生した欠損金が増加し、またこれに係る繰延税金資産を計上していないことによるものです。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、当社の画像解析アルゴリズムやソフトウェアを用いたロックレスの駐車場機器ソリューションへのニーズが堅調に推移いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う緊急事態宣言発出の影響により、顧客である駐車場運営会社の新規駐車場開設のペースが低下したため、当第2四半期連結累計期間は売上高成長率が押し下げられたことでセグメント利益は減益となっております。

この結果、売上高は2,780,172千円(前年同四半期比5.2%増)、セグメント利益は66,778千円(前年同四半期比67.1%減)となりました。

(Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、アルゴリズムソリューションの新規案件受注とライセンスの積み上げを図るとともに、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたアルゴリズムソフトウェアや、3D姿勢分析システム「シセイカルテ」の拡販を進めてまいりました。

この結果、売上高は1,415,406千円(前年同四半期比24.3%増)、セグメント利益は485,311千円(前年同四半期比84.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,019,617千円となり、前連結会計年度末に比べ114,930千円増加いたしました。流動資産は24,033,386千円(前連結会計年度末比2,166,532千円減)となりました。主な減少要因は、現金及び預金が2,440,223千円減少したことによるものであります。また、固定資産は7,949,735千円(前連結会計年度末比2,294,504千円増)となりました。主な増加要因は、投資有価証券が2,566,685千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は3,637,600千円となり、前連結会計年度末に比べ828,045千円減少いたしました。主な減少要因は、未払法人税等が737,178千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は28,382,016千円となり、前連結会計年度末に比べ942,976千円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により230,084千円、非支配株主持分が124,257千円、その他有価証券評価差額金が568,649千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は21,696,850千円となり、前連結会計年度末に比べ2,440,223千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は524,064千円(前年同四半期は316,982千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益435,243千円があったものの、売上債権の増加262,378千円、法人税等の支払額868,827千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,965,299千円(前年同四半期は1,644,406千円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,710,430千円及び無形固定資産の取得による支出178,399千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は49,140千円(前年同四半期は80,253千円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出90,845千円があったものの、非支配株主からの払込みによる収入120,000千円があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月12日に公表いたしました「2020年9月期 決算短信」に記載した内容から変更はございません。また、本日2021年5月13日に「株式会社アシリレラの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」及び「株式会社オウケイウェイヴの新設分割会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」を開示しています。本件が今後の業績に与える影響は精査中であり、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,137,073	21,696,850
受取手形及び売掛金	1,081,201	1,343,580
原材料及び貯蔵品	398,054	390,519
その他	586,081	605,021
貸倒引当金	△2,492	△2,585
流動資産合計	26,199,918	24,033,386
固定資産		
有形固定資産	1,296,214	1,312,306
無形固定資産		
のれん	1,936,541	1,877,467
その他	693,229	715,909
無形固定資産合計	2,629,771	2,593,377
投資その他の資産		
投資有価証券	1,255,594	3,822,279
その他	473,651	221,772
投資その他の資産合計	1,729,245	4,044,051
固定資産合計	5,655,231	7,949,735
繰延資産	49,536	36,495
資産合計	31,904,686	32,019,617
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,504	383,646
未払法人税等	874,746	137,568
その他	1,003,350	857,443
流動負債合計	2,227,601	1,378,658
固定負債		
長期借入金	2,151,180	2,029,620
その他	86,864	229,321
固定負債合計	2,238,044	2,258,941
負債合計	4,465,646	3,637,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,962	29,205
資本剰余金	25,118,740	25,128,983
利益剰余金	3,291,337	3,521,421
自己株式	△957,010	△957,308
株主資本合計	27,472,029	27,722,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,085	533,564
その他の包括利益累計額合計	△35,085	533,564
新株予約権	2,095	1,892
非支配株主持分	—	124,257
純資産合計	27,439,040	28,382,016
負債純資産合計	31,904,686	32,019,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,768,527	4,190,478
売上原価	2,225,852	2,535,697
売上総利益	1,542,674	1,654,781
販売費及び一般管理費	1,131,551	1,174,822
営業利益	411,123	479,959
営業外収益		
受取家賃	9,626	5,505
持分法による投資利益	18,947	—
移転補償金	10,490	—
その他	12,220	4,105
営業外収益合計	51,283	9,610
営業外費用		
支払利息	17,195	10,239
株式交付費償却	17,291	13,041
持分法による投資損失	—	14,194
その他	8,344	12,428
営業外費用合計	42,830	49,903
経常利益	419,576	439,666
特別利益		
投資有価証券売却益	8,002	—
特別利益合計	8,002	—
特別損失		
固定資産除却損	68	4,423
特別損失合計	68	4,423
税金等調整前四半期純利益	427,511	435,243
法人税、住民税及び事業税	148,142	137,450
法人税等調整額	33,569	63,451
法人税等合計	181,712	200,901
四半期純利益	245,798	234,341
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	245,798	230,084

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	245,798	234,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,149,889	568,649
その他の包括利益合計	1,149,889	568,649
四半期包括利益	1,395,688	802,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,395,688	798,733
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4,257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427,511	435,243
減価償却費	196,835	202,484
のれん償却額	59,381	59,074
持分法による投資損益(△は益)	△18,947	14,194
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,002	—
支払利息	17,195	10,239
株式交付費償却	17,291	13,041
売上債権の増減額(△は増加)	△176,462	△262,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,073	123,995
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,806	34,142
前受金の増減額(△は減少)	15,784	△115,064
未払金の増減額(△は減少)	12,973	△13,139
その他	2,402	△146,707
小計	451,082	355,123
利息の受取額	112	106
利息の支払額	△12,108	△10,467
法人税等の支払額	△122,104	△868,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,982	△524,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	—
有形固定資産の取得による支出	△61,181	△73,171
無形固定資産の取得による支出	△145,908	△178,399
投資有価証券の取得による支出	△411,838	△1,710,430
敷金の差入による支出	△41,192	△220
その他	15,714	△3,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,644,406	△1,965,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	957,010	—
長期借入金の返済による支出	△90,845	△90,845
非支配株主からの払込みによる収入	—	120,000
株式の発行による収入	12,504	20,282
自己株式の取得による支出	△958,924	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,253	49,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,407,678	△2,440,223
現金及び現金同等物の期首残高	22,614,986	24,137,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,207,308	21,696,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,642,623	1,125,903	3,768,527	—	3,768,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,200	13,200	△13,200	—
計	2,642,623	1,139,103	3,781,727	△13,200	3,768,527
セグメント利益	202,787	263,062	465,849	△54,726	411,123

(注) セグメント利益の調整額△54,726千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,780,172	1,410,306	4,190,478	—	4,190,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,100	5,100	△5,100	—
計	2,780,172	1,415,406	4,195,578	△5,100	4,190,478
セグメント利益	66,778	485,311	552,089	△72,130	479,959

(注) セグメント利益の調整額△72,130千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

(重要な後発事象)

1. 株式取得による会社等の買収

当社は、2021年5月13日開催の取締役会において、以下のとおり、当社が設立する特別目的会社（以下、「買収SPC」）を通じて、株式会社オウケイウェイヴ（以下、「オウケイウェイヴ」）のソリューション事業（但し、OKBIZ. for Community Support及びOKWAVE GRATICAを除く。）（以下、「対象事業」）を買収（以下、「本件買収」）することを決議いたしました。

本件買収にあたっては、オウケイウェイヴは会社分割（新設分割）により設立予定である新設会社に対象事業を承継します。金融機関からのノンリコース・ローンによる資金調達を目的として当社が設立した買収SPCが買収主体となり、当該ローン及び自己資金により新設会社の全株式を取得する予定です。

なお、本件買収は、2021年6月28日に開催予定のオウケイウェイヴの臨時株主総会において、本件買収にかかる承認が得られることが前提となります。

(1) 株式取得の目的

当社は、当社のグループ会社である株式会社BEDORE（以下、「BEDORE社」）を通じて、カスタマーサポートや電話対応の自動化に向けた、高品質な機械学習アルゴリズムのサービス化と社会実装を推進しております。

BEDORE社は、深層学習と自然言語処理（NLP）を活用した対話エンジンをSaaS形式で提供しており、100社以上の大手企業の自動応答エンジンとして、カスタマーサポートや電話対応の自動化を目的に導入されております。

対象事業はBEDORE社のプロダクトの隣接領域において、FAQ/お問い合わせ管理システム「OKBIZ.」シリーズをはじめ、企業向けの高品質なFAQソリューションを展開しています。特に主力サービスの1つである「OKBIZ. for FAQ」は、9年連続で国内シェアNo. 1を達成するなど、高い実績と安定した顧客基盤を有しています。

当社グループとしては、自動応答エンジンとFAQサービスがシームレスに接続した顧客体験が、今後市場で求められるものと考えております。BEDORE社の「高品質な対話エンジン」及び「自然言語処理をはじめとした機械学習エンジニアリング」と、対象事業の「高品質なFAQソリューション」及び「顧客基盤」という両者の強みを掛け合わせることで、プロダクトパッケージの高付加価値化及び顧客価値の最大化が実現できると考え、本件買収を決定いたしました。

(2) 買収SPCの概要

名称	合同会社桜坂2号
所在地	東京都文京区本郷二丁目35番10号本郷瀬川ビル4階
代表者の役職・氏名	代表社員 職務執行者 中田光哉
事業内容	各種コンサルティング事業
資本金	1百万円
設立年月日	2021年5月12日
持分比率	当社100%

(3) 株式取得の相手先の概要

名称	株式会社オウケイウェイヴ
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 福田 道夫
事業内容	日本初、最大級のQ&Aサイト「OKWAVE」の運営及び関連する企業サービスの提供
資本金	1,582百万円
設立年月日	1999年7月

(4) 買収する相手会社（新設会社）の名称、事業内容、規模、取得する株式の数、取得価額、取得後の持分比率等

会社の名称	株式会社PRAZNA
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目1番28号
代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤 哲也
事業内容	法人向けFAQ/お問い合わせ管理システムの開発・運用
資本金	5百万円
設立年月日	2021年6月29日（予定）
取得する株式の数	100株
取得価額	新設会社の普通株式 7,090百万円（予定） アドバイザー費用 224百万円（予定） 合計 7,314百万円（予定）
取得後の持分比率	100%

(5) 株式取得の時期

2021年6月30日（予定）

2. 株式取得による会社等の買収

当社は、2021年5月13日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社アシリレラ（代表取締役：沼畑 幸二、以下「アシリレラ」）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社グループは「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、「アルゴリズムサプライヤー」として、自社開発した機械学習／深層学習領域のアルゴリズムを用い、既存のソフトウェアや各種ハードウェア端末向けにソリューションを展開することで、様々な業界の顧客の進化をサポートしてきました。

この度株式を取得することを決定したアシリレラは、外資系コンサルティング企業のエグゼクティブ・パートナーや日系大手企業のCIOを歴任された2名により創業された、ビジネスプロセスの自動化や生産性向上を実現するソフトウェア企業です。同社は、創業者の約30年に渡るエンタープライズIT業界の日本特有の課題感を基に、社内業務を効率化するために、IT専門家に依存しないデジタル技術の内製化を実現する純国産ソフトウェア・プロダクトを開発しております。

これまで、DX支援を進める先進的なIT企業とのパートナーシップを基軸に、業務部門に特化した自動化ソフトウェアを提供しており、特に従来のRPAを補完するサブツールや業務スタッフによるローコード・ノーコード開発ツールとしての新しいユースケースが広がっております。実際に利用しているエンドユーザ企業のライセンスは1,000社以上に積み上がっており、これらはエンドユーザ企業が利用して初めて課金が発生するリカーリング型の安定的なビジネスモデルとなっております。

今回、ユーザ基盤を合わせ持ったプロダクトを持つアシリレラをグループに迎えることで、当社グループが保有するアルゴリズムモジュール、アルゴリズム・ソフトウェアとの強いシナジーを見込んでいます。具体的には当社アルゴリズムモジュール（自然言語処理、画像認識、異常検知 など）を本プロダクトに組み込み、レガシー環境での高度な自動化を実現し、パートナー企業を通じたシェア拡大を目指します。更に、隣接に位置する当社アルゴリズム・ソフトウェアとの機能連携を行い、業界・業務別の対話特性に合わせた事業展開を加速していきます。

対象とする「業務プロセスのデジタル化」市場は、労働人口の減少・少子高齢化と働き方改革の流れを受け、市場規模が年々拡大する成長セグメントです。当社はアシリレラと協働し、グループとしてより幅広い業界・大手企業へのアルゴリズムの実装機会を獲得し、未来のソフトウェアを社会実装してまいります。

(2) 株式取得の相手先の名称

氏名	沼畑 幸二
住所	東京都八王子市
上場会社との当該個人の関係	記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

この他、アシリレラの社員等株主8名（株式取得日までにストックオプションを行使し新たに株主となる者を含む）から株式を取得します。なお、当該株主と当社との間に記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

(3) 買収する相手会社の名称、事業内容、規模、取得する株式の数、取得価額、取得後の持分比率等

会社の名称	株式会社アシリレラ
所在地	東京都渋谷区渋谷1丁目10番7号 グローリア宮益坂Ⅲ 702
代表者の役職・氏名	代表取締役 沼畑 幸二
事業内容	ソフトウェアの企画・開発・販売、経営およびITに関するコンサルティング
資本金	7百万円
設立年月日	2015年3月

取得する株式の数	104,770株 (初回及び第2回の取得による合計数、潜在株式を含む) (議決権の数：104,770個) 本件株式取得は2段階に分かれており、初回（2021年5月31日）に発行済株式の90%にあたる94,293株を取得し、第2回（2023年5月31日（予定））に残数の10,477株を取得する予定です。
取得価額	普通株式 5,000百万円 アドバイザー費用等 6百万円（概算） 合計 5,006百万円（概算） 初回の株式取得の対価は4,500百万円、第2回の株式取得の単価は買収後のアシリレラの業績に連動する設計となっております。上記は第2回の株式取得単価が下限で決定する場合の初回と第2回の取得対価の合計となり、いずれも自己資金の充当を予定しております。
取得後の持分比率	100% 初回に発行済株式の90%にあたる94,293株を取得し、第2回に残数10%の10,477株を取得する予定です。上記は第2回の株式取得が完了した時点での持分比率となります。

(4) 株式取得の時期

初回	2021年5月31日
第2回	2023年5月31日（予定）